

令和三年 新年あいさつ



芦風荘 施設長 横田 教介



あけましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日頃より「芦風荘」の運営に温かいご支援ならびにご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。皆様方のお力添えをもちまして、無事に新春を迎えることができましたことに重ねて感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、京都清水寺の森清せいはいんかんす範貫主による2020年の世相を表す漢字として揮毫発表されました漢字は「密」でした。まさに「コロナ」にはじまり「コロナ」に翻弄される一年となり、「新型コロナウイルス感染症」によって世界の生活様式までもが一変した一年となりました。当施設におきましても、全面的な面会制限の実施や行事開催等の自粛によりまして、ご利用者やご家族の皆様には大変なご不便とご心配をおかけし、職員には感染症予防強化等の観点から我慢を強いる一年となりました。幸いにも、ご利用者の皆様や職員に一人も新型コロナウイルス感染者を出すことなく事業運営できましたことに、感慨深く言葉では言い尽くせない感謝の念を抱いてなりません。しかしながら、国内にとどまらず、世界的に未だ終息の目途すら立たない新型コロナウイルス感染症禍にありますので、「ウィズコロナ・アフターコロナ」を念頭に、気を緩めることなく引き続きの感染症予防に職員一同ワンチームとなって取り組み、ご利用者の皆様へのより良いサービス提供への創意工夫に努めて参る所存です。

結びに、今年の干支は「丑(うし)」です。年のいわれは諸説ありますが、「我慢」や「これから発展する前触れ(芽が出る)」となる年と言われています。地域の皆様に支えられて歩んできた感謝の気持ちを胸に刻み、地域に愛される施設づくりにも牛歩のごとく努力して参ります。ご利用者の皆様をはじめ、ご家族の皆様、芦風荘に関わる全ての方々のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しく願いたします。